

令和 2 年 11 月 25 日

【照会先】

政策統括官付参事官付世帯統計室

縦断調査管理官	佐藤 恵治
室長補佐	滝田 小百合
(担 当)	成年者縦断統計企画係
(代表電話)	03(5253)1111 (内線 7592)
(直通電話)	03(3595)2322

第 8 回 21 世紀成年者縦断調査（平成 24 年成年者）の概況

目 次

	頁
調査の概要	1
結果の概要	
1 結婚の状況	3
2 出生の状況	
(1) この 7 年間の出生の状況	4
(2) 独身時の希望子ども数と出生の状況	4
(3) 夫の休日の家事・育児時間と出生の状況	5
(4) 子ども観	6
3 就業の状況	
(1) 結婚前後の就業状況の変化と出産後の就業継続意欲	7
(2) 妻の職場の仕事と子育ての両立のための制度等の状況	8
参考	9
用語の定義	13

この結果は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。
アドレス (https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/toukei/)

調 査 の 概 要

1 調査の目的

21 世紀成年者縦断調査（平成 24 年成年者）は、調査対象となった男女の結婚、出産、就業等の実態及び意識の経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的として、平成 24 年から実施しており、今回で 8 回目の実施となる。

2 調査の対象及び客体

平成 24 年 10 月末時点で 20～29 歳であった全国（福島県の一部地域を除く。）の男女（及びその配偶者（ただし、第 1 回調査実施時までに把握した配偶者に限る。））を対象とし、そのうち、第 6 回又は第 7 回調査において協力を得られた者を客体とした。

第 8 回調査における対象者の年齢は、27～36 歳である。

3 調査の期日

調査の周期 毎年 1 回（11 月の第一水曜日）

調査の期日 第 8 回調査 令和元年 11 月 6 日（水）

4 調査票の種類

（1）男性票 （2）女性票

5 調査の事項

（1）男性票 …… 仕事の有無、就業形態、配偶者の有無、子ども数、希望子ども数、子どもをもつ意欲、子ども観 等

（2）女性票 …… 仕事の有無、就業形態、配偶者の有無、子ども数、希望子ども数、子どもをもつ意欲、子ども観 等

6 調査の方法

厚生労働省から郵送された調査票に被調査者が自ら記入し、郵送により厚生労働省に提出する方法により行った。なお、第 5 回調査からインターネットによるオンライン回答も可能とした。

7 調査の系統

厚生労働省 ————— 被調査者

8 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省政策統括官（統計・情報政策担当）において行った。

調査客体数、回収客体数及び集計客体数は次のとおりである。なお、本概況では、回収客体数（8,844 人）のうち、第 1 回調査から第 8 回調査まで集計可能である 6,189 人を集計客体とした。

	調査客体数	回収客体数	集計客体数
男性票	4,839	3,771	2,617
（再掲）配偶者票（注）	237	182	122
女性票	6,400	5,073	3,572
（再掲）配偶者票（注）	95	75	53
計	11,239	8,844	6,189

（注）第 1 回調査における配偶者票対象者は、第 2 回調査から、男性票又は女性票の対象者として調査を実施している。

（参考）第 1 回からの調査客体数と回収客体数（第 1 回調査における男性票及び女性票の対象者）

	対象者の年齢	調査客体数	回収客体数	回収率
第 1 回	20～29 歳	38,879	31,122	80.0%
第 2 回	21～30 歳	33,835	18,979	56.1%
第 3 回	22～31 歳	30,741	15,326	49.9%
第 4 回	23～32 歳	20,082	14,300	71.2%
第 5 回	24～33 歳	16,731	11,879	71.0%
第 6 回	25～34 歳	14,600	10,230	70.1%
第 7 回	26～35 歳	12,353	9,456	76.5%
第 8 回	27～36 歳	10,907	8,587	78.7%

（注）第 1 回は、調査員調査により実施。

9 利用上の注意

（1）表章記号の規約

計数のない場合	—
---------	---

（2）この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

（3）「21 世紀成年者縦断調査（平成 24 年成年者）」を「21 世紀成年者縦断調査（平成 14 年成年者）」と比較する際は、それぞれを「24 年成年者」「14 年成年者」としている。

なお、「21 世紀成年者縦断調査（平成 14 年成年者）」は、平成 14 年 10 月末時点で 20～34 歳であった全国の男女（及びその配偶者（ただし、第 11 回調査実施時までには把握した配偶者に限る。））を対象としたものであり、この概況では平成 14 年 10 月末時点で 20～29 歳であった者を集計している。

結 果 の 概 要

1 結婚の状況

(1) 第1回調査時の独身者の結婚状況

第1回調査時に独身であった者のこの7年間の結婚の状況をみると、男 29.8%、女 45.2%が結婚している。また、第1回に子どもをもつ意欲があった者の方が結婚した割合が高い

第1回調査(平成24年)時に独身であった者のうち、この7年間で結婚した割合は、男 29.8%、女 45.2%であり、独身者の割合は、男 70.2%、女 54.8%となっている(表1)。

また、第1回の子どもをもつ意欲別にこの7年間の結婚の状況をみると、男女とも、「もちたい」と答えた者の方が「もてなくてもかまわない」「子どもは欲しくない」と答えた者より、この7年間で結婚した割合が高くなっている(図1)。

表1 第1回調査時に独身であった者の性、年齢階級別にみたこの7年間の結婚の状況

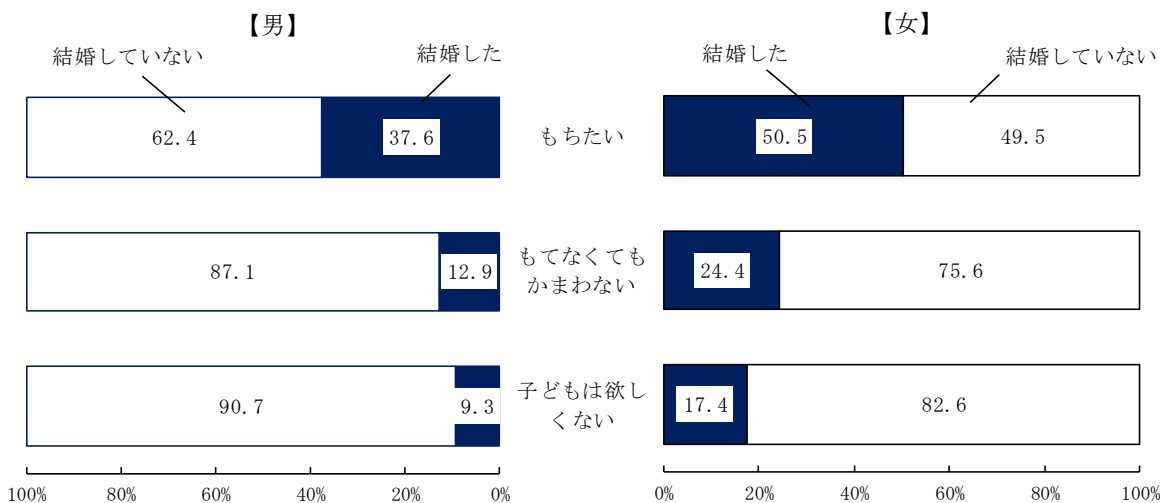
性 第1回の年齢階級 (第8回の年齢階級)	総数		結婚した ²⁾³⁾								結婚して いない
			総数	第1回から 第2回間に 結 婚	第2回から 第3回間に 結 婚	第3回から 第4回間に 結 婚	第4回から 第5回間に 結 婚	第5回から 第6回間に 結 婚	第6回から 第7回間に 結 婚	第7回から 第8回間に 結 婚	
男	(100.0)	100.0	29.8	4.3	3.8	4.6	3.9	4.2	4.3	4.7	70.2
20～24歳(27～31歳)	(47.2)	100.0	25.1	0.9	2.3	3.4	3.5	5.0	4.9	5.3	74.9
25～29歳(32～36歳)	(52.8)	100.0	34.0	7.4	5.1	5.7	4.4	3.5	3.8	4.1	66.0
女	(100.0)	100.0	45.2	7.1	7.6	6.8	6.8	6.3	5.9	4.7	54.8
20～24歳(27～31歳)	(49.4)	100.0	40.9	3.5	5.0	5.6	6.8	7.0	7.4	5.6	59.1
25～29歳(32～36歳)	(50.6)	100.0	49.4	10.6	10.1	8.0	6.8	5.7	4.4	3.8	50.6

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)7年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

3)「結婚した」には、この7年間に、結婚した後離婚した者を含む。

図1 第1回調査時に独身であった者の性、子どもをもつ意欲別にみたこの7年間の結婚の状況



注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)子どもをもつ意欲は第1回調査で、「もちたい」は「絶対にもちたい」「できればもちたい」と回答した者を、「子どもは欲しくない」は「今後、何人の子どものもちたいと考えていますか。」という質問に「0人」と回答した者を集計している。

3)「結婚した」には、この7年間に、結婚した後離婚した者を含む。

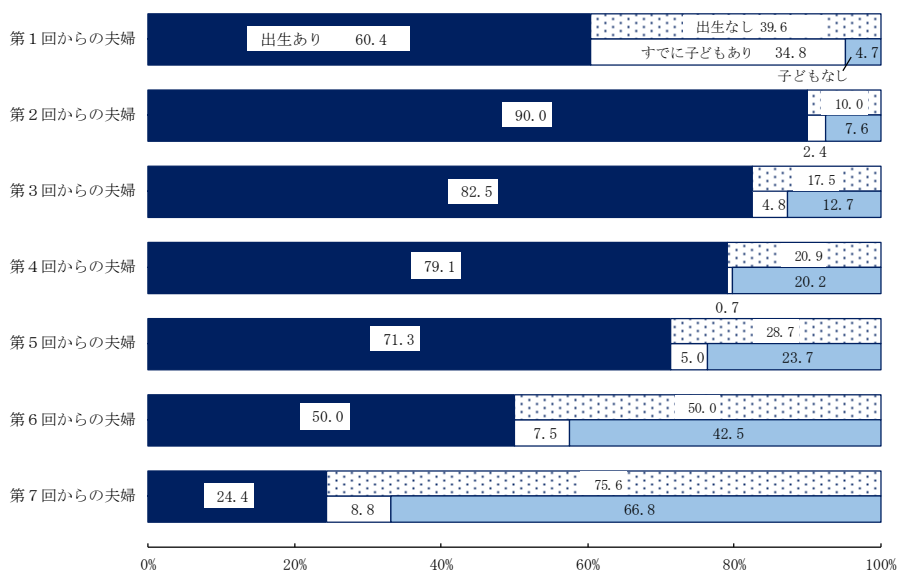
2 出生の状況

(1) この7年間の出生の状況

この7年間で、「第1回からの夫婦」では60.4%、「第2回からの夫婦」では90.0%、「第3回からの夫婦」では82.5%、「第4回からの夫婦」では79.1%、「第5回からの夫婦」では71.3%、「第6回からの夫婦」では50.0%、「第7回からの夫婦」では24.4%に子どもが生まれた

この7年間に子どもが生まれた割合は、第1回からの夫婦（第1回調査時ですでに結婚していた夫婦）60.4%、第2回からの夫婦90.0%、第3回からの夫婦82.5%、第4回からの夫婦79.1%、第5回からの夫婦71.3%、第6回からの夫婦50.0%、第7回からの夫婦24.4%となっている（図2）。

図2 夫婦におけるこの7年間の出生の状況



注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。

2) 「第1回からの夫婦」とは、第1回調査時ですでに結婚していた夫婦、「第2回からの夫婦」「第3回からの夫婦」「第4回からの夫婦」「第5回からの夫婦」「第6回からの夫婦」「第7回からの夫婦」とは、当該調査回に結婚したと回答があった夫婦を計上している。

(2) 独身時の希望子ども数と出生の状況

独身時の希望子ども数は、男女ともに「2人」だった割合が高い。また、男64.2%、女64.5%に子どもがいる

第1回調査時に独身で第8回調査時に既婚だった者の第1回の希望子ども数を性別にみると男女とも「2人」が多く、男では63.7%、女62.2%となっている。また、第8回調査時に「子どもあり」の割合は男64.2%、女64.5%となっており、希望子ども数が多いほど高い傾向となっている（表2）。

表2 第1回調査時に独身であった者の性、希望子ども数別にみた出生の状況

(単位：%)									
		子ども数（第8回）							
		総数		子どもあり				子どもなし	
					1人	2人	3人以上		
希望子ども数（第1回）	男	総数	(100.0)	100.0	64.2	38.2	23.4	2.6	35.8
		0人	(4.6)	100.0	58.6	51.7	6.9	-	41.4
		1人	(7.0)	100.0	56.8	43.2	11.4	2.3	43.2
		2人	(63.7)	100.0	63.6	36.7	24.6	2.3	36.4
		3人	(21.1)	100.0	71.2	39.4	27.3	4.5	28.8
	女	総数	(100.0)	100.0	64.5	37.3	24.3	2.9	35.5
		0人	(3.8)	100.0	30.0	16.0	12.0	2.0	70.0
		1人	(5.4)	100.0	52.9	35.7	14.3	2.9	47.1
		2人	(62.2)	100.0	66.1	39.6	24.4	2.1	33.9
		3人	(27.2)	100.0	68.3	35.7	27.5	5.1	31.7

注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。

2) 「総数」には第1回の希望子ども数不詳を含む。

(3) 夫の休日の家事・育児時間と出生の状況

子どもがいる夫婦は、夫の休日の家事・育児時間が長くなるほど、第2子以降の生まれる割合が高くなる傾向がある

夫婦について、夫の休日の家事・育児時間別に、この7年間の出生状況をみると、子どもが1人以上いる夫婦では、「家事・育児時間なし」で50.0%、家事・育児時間ありでは7割以上で第2子以降が生まれており、14年成年者（第8回）と同様に、家事・育児時間が長いほど子どもが生まれる割合が高くなる傾向がある（表3、図3）。

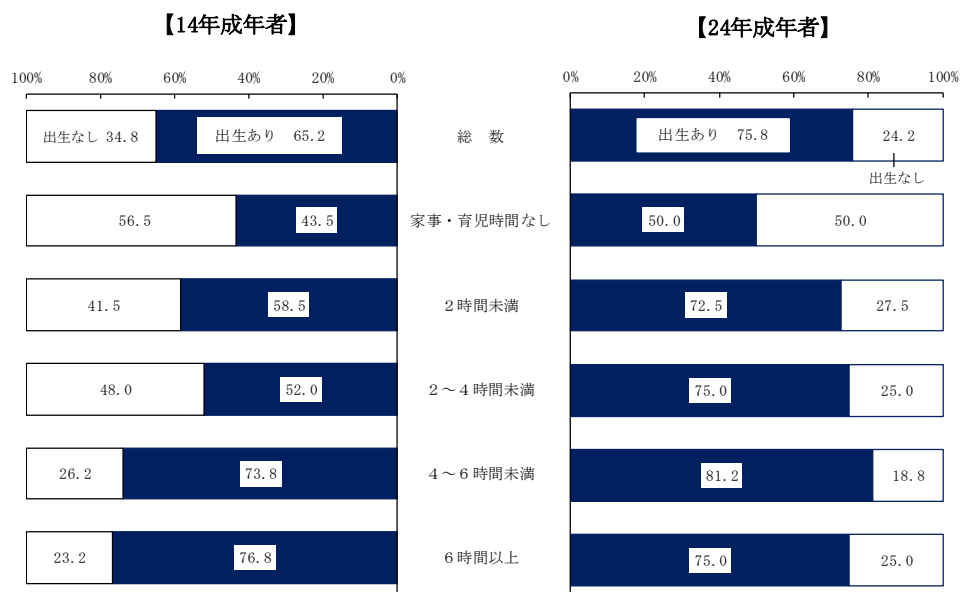
表3 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの7年間の出生の状況

(単位：%)

		総数				子どもなしの夫婦			子ども1人以上の夫婦		
				出生あり	出生なし		第1子 出生あり	出生なし		第2子 以降 出生あり	出生なし
夫の 家事・ 育児 時間	総数	(100.0)	100.0	62.5	37.5	100.0	51.8	48.2	100.0	75.8	24.2
	家事・育児時間なし	(5.1)	100.0	52.4	47.6	100.0	52.7	47.3	100.0	50.0	50.0
	2時間未満	(37.8)	100.0	52.8	47.2	100.0	49.8	50.2	100.0	72.5	27.5
	2～4時間未満	(21.7)	100.0	61.5	38.5	100.0	51.5	48.5	100.0	75.0	25.0
	4～6時間未満	(10.7)	100.0	76.0	24.0	100.0	57.9	42.1	100.0	81.2	18.8
	6時間以上	(20.9)	100.0	74.3	25.7	100.0	54.5	45.5	100.0	75.0	25.0

- 注： 1)集計対象は、9頁「参考」を参照。
 2)家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第7回調査時の状況である。
 3)「子どもなしの夫婦」「子ども1人以上の夫婦」は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第7回調査時の状況である。
 4)7年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
 5)家事・育児時間の「総数」には、家事・育児時間不詳を含む。

図3 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの7年間の第2子以降の出生の状況
【14年成年者・24年成年者】



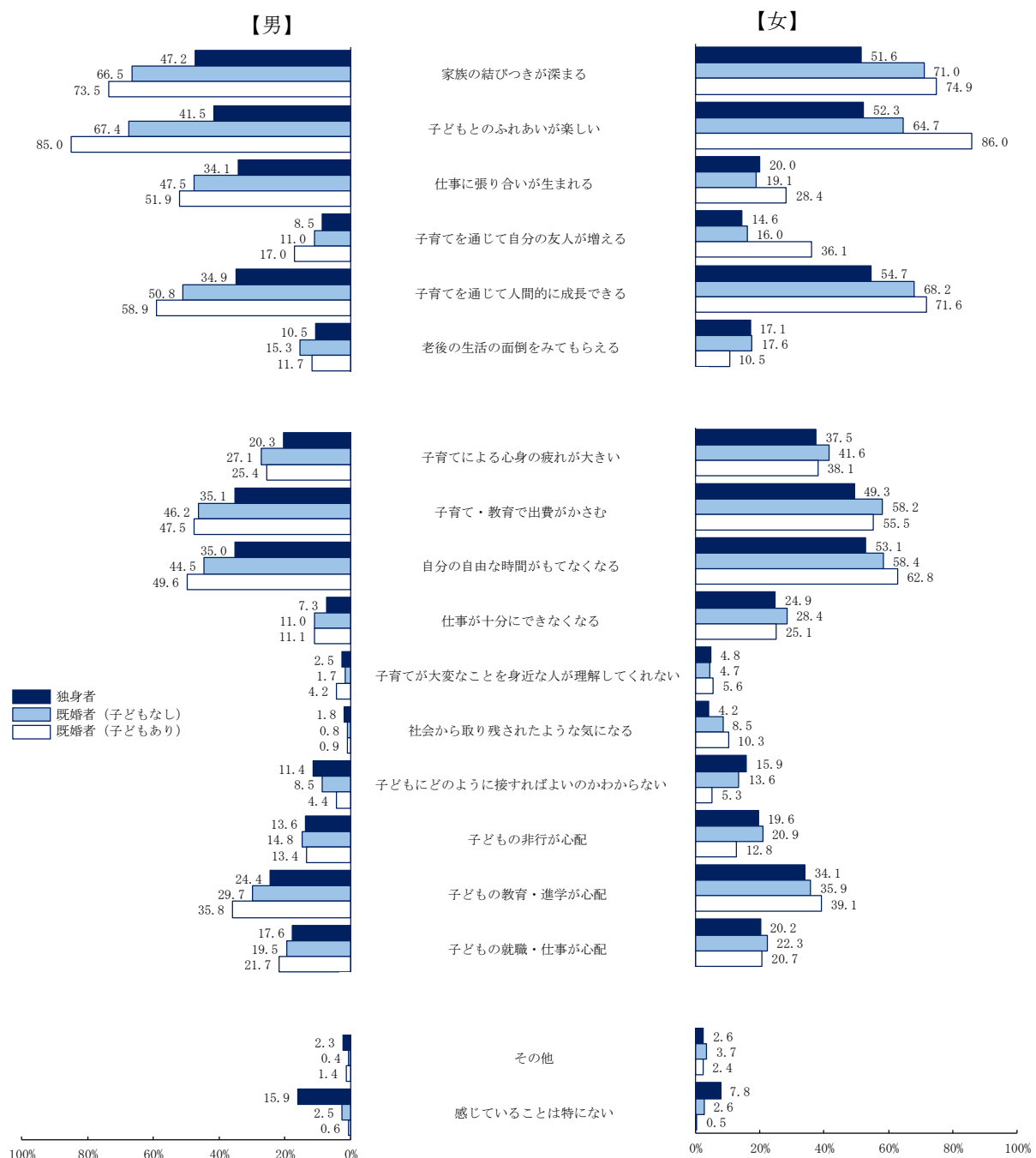
- 注： 1)集計対象は、9頁「参考」を参照。
 2)家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第7回調査時の状況である。
 3)7年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
 4)「総数」には、家事・育児時間不詳を含む。

(4) 子ども観

独身者、既婚者（子どもなし）、既婚者（子どもあり）で子ども観の割合の差が男女ともに大きいのは、「家族の結びつきが深まる」「子どもとのふれあいが楽しい」「子育てを通じて人間的に成長できる」となっている

第8回調査の独身者、既婚者（子どもなし）、既婚者（子どもあり）別に、子ども観の割合の差をみると、男女ともに差が大きいのは、「家族の結びつきが深まる」「子どもとのふれあいが楽しい」「子育てを通じて人間的に成長できる」となっており、男では「仕事に張り合いが生まれる」の差も大きくなっている。特に、男女ともに「子どもとのふれあいが楽しい」の差が大きい。（図4）

図4 性、独身者・既婚者（子どもの有無）別にみた子ども観（複数回答）



注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)「独身者」「既婚者」「子どもの有無」は第8回調査時の状況である。

3 就業の状況

(1) 結婚前後の就業状況の変化と出産後の就業継続意欲

結婚前後とも「仕事あり」の割合は、男 99.2%、女 81.9%。また、結婚前に「仕事あり」で結婚後に「仕事なし」に変化した割合は、男 0.3%、女 17.8%と、女性の方が「仕事なし」に変化した割合が高い

第1回調査時に独身でこの7年間に結婚した者について、結婚前後の就業状況の変化をみると、結婚前に「仕事あり」で結婚後も「仕事あり」の割合は、男 99.2%、女 81.9%、結婚前に「仕事あり」で結婚後に「仕事なし」に変化した割合は、男 0.3%、女 17.8%となっており、女性の方が男性より、「仕事なし」に変化した割合が高くなっている（表4）。

また、結婚前後とも「仕事あり」の女について、結婚前後の出産後の就業継続意欲をみると、「出産した後も続ける」の割合は、結婚前 42.0%、結婚後 57.1%となっている（図5）。

表4 第1回調査時に独身でこの7年間に結婚した者の性、仕事の有無・就業形態別にみた結婚前後の状況

(単位：%)

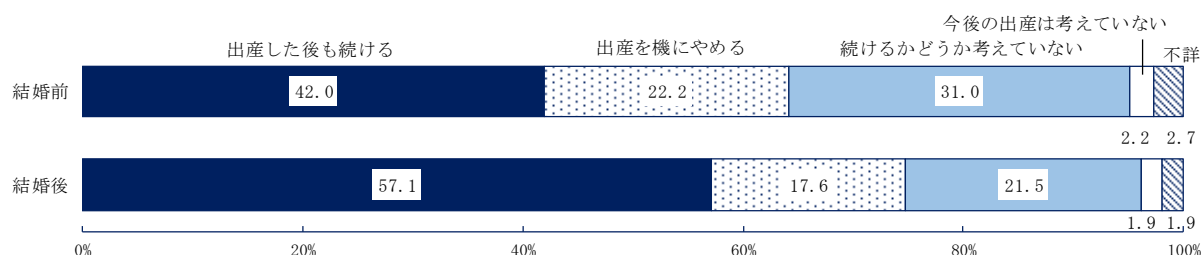
性 結婚前の仕事の有無・就業形態	総数		結婚後の仕事の有無・就業形態									仕事なし
			仕事あり	会社などの役員・自営業主	自家営業の手伝い	自宅での賃仕事(内職)	正規の職員・従業員	アルバイト・パート	労働者派遣事業所の派遣社員	契約社員・嘱託	その他	
男	(100.0)	100.0	98.6	5.2	2.0	0.3	84.8	1.4	0.3	1.8	1.2	0.8
仕事あり	(97.0)	100.0	99.2	5.2	2.0	0.3	85.5	1.3	0.3	1.7	1.1	0.3
会社などの役員・自営業主	(5.0)	100.0	100.0	60.6	-	-	33.3	3.0	-	-	-	-
自家営業の手伝い	(2.1)	100.0	100.0	7.1	71.4	-	21.4	-	-	-	-	-
自宅での賃仕事(内職)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
正規の職員・従業員	(79.7)	100.0	99.2	1.5	0.2	0.2	94.6	0.2	-	1.0	0.2	0.4
アルバイト・パート	(2.1)	100.0	100.0	7.1	-	-	42.9	35.7	-	7.1	7.1	-
労働者派遣事業所の派遣社員	(0.5)	100.0	100.0	-	-	-	-	-	66.7	33.3	-	-
契約社員・嘱託	(3.0)	100.0	100.0	5.0	-	-	60.0	5.0	-	20.0	5.0	-
その他	(1.1)	100.0	100.0	-	-	-	57.1	-	-	-	42.9	-
仕事なし	(2.9)	100.0	78.9	5.3	-	-	57.9	5.3	-	5.3	5.3	15.8
女	(100.0)	100.0	80.1	2.0	1.2	0.1	56.4	10.5	2.8	5.9	0.8	19.5
仕事あり	(94.4)	100.0	81.9	2.0	1.2	0.1	59.0	10.0	2.6	5.6	0.8	17.8
会社などの役員・自営業主	(2.3)	100.0	83.9	38.7	-	-	38.7	6.5	-	-	-	12.9
自家営業の手伝い	(0.6)	100.0	87.5	-	87.5	-	-	-	-	-	-	12.5
自宅での賃仕事(内職)	(0.2)	100.0	33.3	-	-	-	-	33.3	-	-	-	66.7
正規の職員・従業員	(67.5)	100.0	85.3	1.3	0.2	0.1	75.5	4.9	0.7	1.8	0.4	14.3
アルバイト・パート	(10.1)	100.0	66.7	0.7	1.4	-	9.4	46.4	2.9	5.8	-	33.3
労働者派遣事業所の派遣社員	(3.0)	100.0	68.3	2.4	-	-	7.3	4.9	43.9	7.3	-	31.7
契約社員・嘱託	(7.9)	100.0	76.9	-	1.9	-	14.8	12.0	5.6	38.9	2.8	23.1
その他	(0.5)	100.0	85.7	-	-	-	14.3	14.3	-	28.6	28.6	14.3
仕事なし	(4.6)	100.0	46.0	1.6	1.6	-	6.3	20.6	6.3	9.5	-	54.0

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)7年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

3)結婚前・結婚後の仕事の有無の「総数」「男」「女」には不詳を含み、「仕事あり」には就業形態不詳を含む。

図5 第1回調査時に独身でこの7年間に結婚した女性（仕事あり）の結婚前後の出産後の就業継続意欲



注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)7年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

3)結婚前・結婚後の「仕事あり」には就業形態不詳を含む。

4)仕事についているが学業が主である場合を除く。

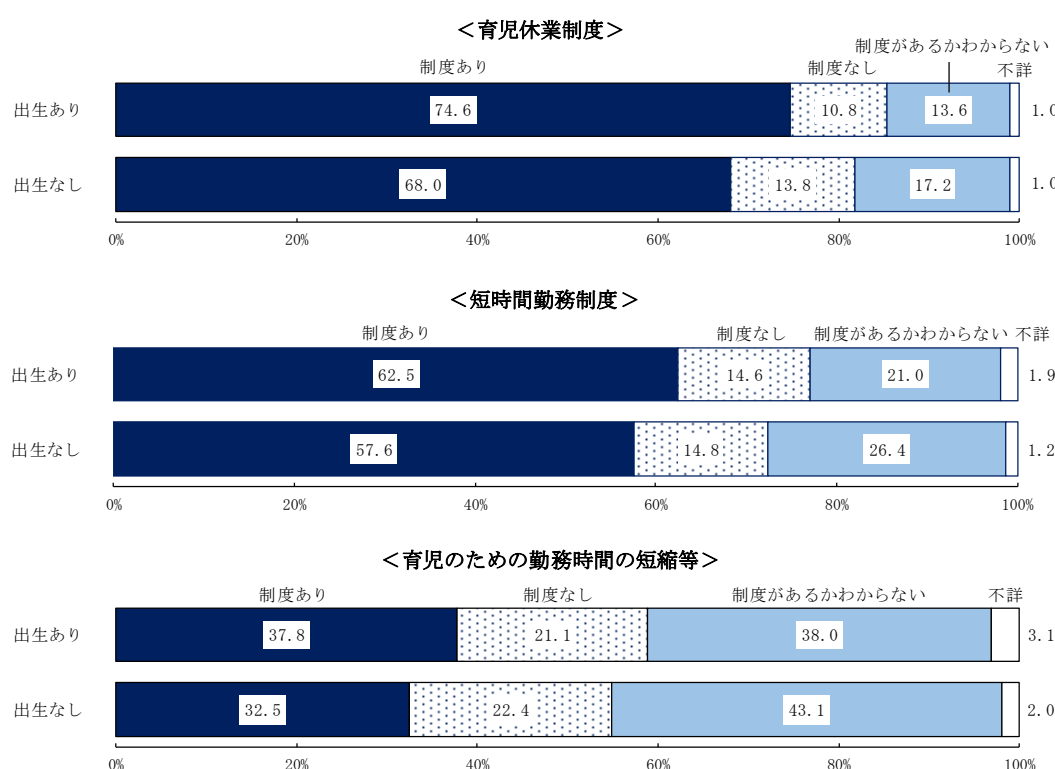
(2) 妻の職場の仕事と子育ての両立のための制度等の状況

妻の職場の「育児休業制度あり」の割合は、出生ありは 74.6%、出生なしは 68.0%となっている

この7年間の出生の状況別に、妻の職場の仕事と子育ての両立のための制度等の状況をみると、育児休業制度の「制度あり」の割合は、「出生あり」は 74.6%、「出生なし」は 68.0%となっている(図6)。

また、この7年間に子どもが生まれた夫婦の妻の育児休業制度の利用状況をみると、「利用あり」は 59.9%、「利用なし」は 25.1%となっている。育児休業制度の利用の有無別に妻の出産後の就業状況をみると「利用あり」の「同一就業継続」は 87.4%、「利用なし」の「同一就業継続」は 52.6%となっている。(表5)

図6 この7年間の出生の状況別にみた妻の職場の仕事と子育ての両立のための制度等の状況



注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)「仕事と子育ての両立のための制度等」とは、「育児休業制度」「短時間勤務制度」「育児のための勤務時間の短縮等」について、勤め先の会社等において、自分の就業形態で利用可能な制度があるかどうか、ある場合は、利用にあたっての雰囲気はどうかを質問したものである。

表5 この7年間に子どもが生まれた夫婦の出産後の妻の仕事と子育ての両立のための制度等の利用の有無別にみた出産後の妻の就業継続の状況

(単位：%)

出産後の妻の仕事と子育ての両立のための制度等の利用の有無	出産後の妻の就業継続の状況				
	総数	同一就業継続	転職	離職	
育児休業制度	(100.0)	100.0	66.6	10.1	21.1
利用あり	(59.9)	100.0	87.4	10.7	0.2
利用なし	(25.1)	100.0	52.6	13.8	33.2
短時間勤務制度	(100.0)	100.0	66.6	10.1	21.1
利用あり	(13.6)	100.0	87.7	10.4	0.9
利用なし	(64.5)	100.0	74.6	11.7	12.3
育児のための勤務時間の短縮等	(100.0)	100.0	66.6	10.1	21.1
利用あり	(7.0)	100.0	80.0	18.2	1.8
利用なし	(69.7)	100.0	76.7	10.5	11.4

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)「育児休業制度」「短時間勤務制度」「育児のための勤務時間の短縮等」には、仕事と子育ての両立のための制度等の利用の有無不詳を含む。

3)「総数」には、出産後の妻の就業継続の状況不詳を含む。

参 考

1 集計対象の条件

第1回調査から第8回調査までの蓄積データ

集計対象の条件		図表番号
第1回調査から第8回調査まで継続して回答している者		
第1回調査時の独身者		表1 図1
7年間（第1回調査から第8回調査）に結婚した者 ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離死別した者を除く		表4 図5
第8回調査時の既婚者		表2
以下の(a)又は(b)に該当する夫婦 (a) 第1回調査から第8回調査まで双方が回答している夫婦 (b) 第1回調査時に独身で第7回調査までの間に結婚し、結婚後第8回調査まで回答している夫婦		図2
以下の(a)かつ(b)に該当する夫婦 (a) 同居夫婦（妻の出生前データが得られていない夫婦は除く。） (b) 第1回調査時に20～29歳		表3 図3
第1回調査の「男性票」「女性票」の対象者		図4
以下の(a)又は(b)かつ(c)に該当する夫婦 (a) 第1回調査から第8回調査まで双方が回答している夫婦 (b) 第1回調査時に独身で第7回調査までの間に結婚し、結婚後第8回調査まで回答している妻が女性票の対象の夫婦 (c) 「出生あり」は出生前に、「出生なし」は第7回に妻が会社等に勤めていて、育児休業制度等の有無のデータが得られている夫婦		図6
以下の(a)又は(b)かつ(c)に該当するこの7年間に子どもが生まれた夫婦 (a) 第1回調査から第8回調査まで双方が回答している夫婦 (b) 第1回調査時に独身で第7回調査までの間に結婚し、結婚後第8回調査まで回答している夫婦 (c) 妻が出産前に会社等に勤めていた夫婦		表5

2 集計客体数一覧

表1 第1回調査時に独身であった者の性、年齢階級別にみたこの7年間の結婚の状況

(単位：人)

性 第1回調査の年齢階級 (第8回調査の年齢階級)	総数	結婚した ²⁾³⁾								結婚して いない
		総数	第1回から 第2回間に 結 婚	第2回から 第3回間に 結 婚	第3回から 第4回間に 結 婚	第4回から 第5回間に 結 婚	第5回から 第6回間に 結 婚	第6回から 第7回間に 結 婚	第7回から 第8回間に 結 婚	
男	2 208	658	95	84	101	87	93	95	103	1 550
20～24歳 (27～31歳)	1 042	262	9	24	35	36	52	51	55	780
25～29歳 (32～36歳)	1 166	396	86	60	66	51	41	44	48	770
女	3 026	1 368	216	229	206	205	192	178	142	1 658
20～24歳 (27～31歳)	1 494	611	53	75	83	101	105	110	84	883
25～29歳 (32～36歳)	1 532	757	163	154	123	104	87	68	58	775

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)7年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

3)「結婚した」には、この7年間に、結婚した後離婚した者を含む。

図1 第1回調査時に独身であった者の性、子どもをもつ意欲別にみたこの7年間の結婚の状況

(単位：人)

性 第1回調査の子どもをもつ意欲	総数	結婚した ³⁾	結婚して いない
男	2 208	658	1 550
もちたい	1 553	584	969
絶対にもちたい	586	309	277
できればもちたい	967	275	692
もてなくてもかまわない	178	23	155
子どもは欲しくない	355	33	322
不詳	122	18	104
女	3 026	1 368	1 658
もちたい	2 487	1 257	1 230
絶対にもちたい	1 247	775	472
できればもちたい	1 240	482	758
もてなくてもかまわない	156	38	118
子どもは欲しくない	333	58	275
不詳	50	15	35

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)子どもをもつ意欲は第1回調査で、「もちたい」は「絶対にもちたい」「できればもちたい」と回答した者を、「子どもは欲しくない」は「今後、何人の子どものもちたいと考えていますか。」という質問に「0人」と回答した者を集計している。

3)「結婚した」には、この7年間に、結婚した後離婚した者を含む。

図2 夫婦におけるこの7年間の出生の状況

(単位：組)

	総数	出生あり	出生なし	出生なし	
				すでに 子ども あり	子どもなし
第1回からの夫婦	316	191	125	110	15
第2回からの夫婦	291	262	29	7	22
第3回からの夫婦	292	241	51	14	37
第4回からの夫婦	282	223	59	2	57
第5回からの夫婦	279	199	80	14	66
第6回からの夫婦	268	134	134	20	114
第7回からの夫婦	250	61	189	22	167

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)「第1回からの夫婦」とは、第1回調査時ですでに結婚していた夫婦、「第2回からの夫婦」「第3回からの夫婦」「第4回からの夫婦」「第5回からの夫婦」「第6回からの夫婦」「第7回からの夫婦」とは、当該調査回に結婚したと回答があった夫婦を計上している。

表2 第1回調査時に独身であった者の性、希望子ども数別にみた出生の状況

(単位：人)

性 第1回の希望子ども数	子ども数（第8回）					
	総数	子どもあり	1人	2人	3人以上	子どもなし
男	625	401	239	146	16	224
0人	29	17	15	2	-	12
1人	44	25	19	5	1	19
2人	398	253	146	98	9	145
3人以上	132	94	52	36	6	38
不詳	22	12	7	5	-	10
女	1 308	844	488	318	38	464
0人	50	15	8	6	1	35
1人	70	37	25	10	2	33
2人	814	538	322	199	17	276
3人以上	356	243	127	98	18	113
不詳	18	11	6	5	-	7

注：集計対象は、9頁「参考」を参照。

表3 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの7年間の出生の状況

(単位：組)

夫の休日の家事・育児時間				子どもなし の夫婦			子ども1人 以上の夫婦		
	総数	出生あり	出生なし	第1子 出生あり	出生なし		第2子 以降 出生あり	出生なし	
総数	1 604	1 002	602	890	461	429	714	541	173
家事・育児時間なし	82	43	39	74	39	35	8	4	4
2時間未満	606	320	286	526	262	264	80	58	22
2～4時間未満	348	214	134	200	103	97	148	111	37
4～6時間未満	171	130	41	38	22	16	133	108	25
6時間以上	335	249	86	11	6	5	324	243	81
不詳	62	46	16	41	29	12	21	17	4

注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。

2) 家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第7回調査時の状況である。

3) 「子どもなしの夫婦」「子ども1人以上の夫婦」は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第7回調査時の状況である。

4) 7年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

図3 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの7年間の第2子以降の出生の状況【14年成年者・24年成年者】

(単位：組)

夫の休日の家事・育児時間	14年成年者			24年成年者		
	出生あり	出生なし		出生あり	出生なし	
総数	793	517	276	714	541	173
家事・育児時間なし	23	10	13	8	4	4
2時間未満	123	72	51	80	58	22
2～4時間未満	150	78	72	148	111	37
4～6時間未満	145	107	38	133	108	25
6時間以上	310	238	72	324	243	81
不詳	42	12	30	21	17	4

注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。

2) 家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第7回調査時の状況である。

3) 7年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

図4 性、独身者・既婚者（子どもの有無）別にみた子ども観（複数回答）

(単位：人)

第8回の子どもの観（複数回答）	男						女					
	独身者	既婚者	子どもあり	子どもなし			独身者	既婚者	子どもあり	子どもなし		
総数	2 495	1 594	901	665	236		3 519	1 753	1 766	1 273	493	
家族の結びつきが深まる	1 399	753	646	489	157		2 208	904	1 304	954	350	
子どもとのふれあいが楽しい	1 385	661	724	565	159		2 331	917	1 414	1 095	319	
仕事に張り合いが生まれる	1 000	543	457	345	112		806	351	455	361	94	
子育てを通じて自分の友人が増える	274	135	139	113	26		795	256	539	460	79	
子育てを通じて人間的に成長できる	1 069	557	512	392	120		2 207	959	1 248	912	336	
老後の生活の面倒をみてもらえる	282	168	114	78	36		520	299	221	134	87	
子育てによる心身の疲れが大きい	556	323	233	169	64		1 348	658	690	485	205	
子育て・教育で出費がかさむ	985	560	425	316	109		1 858	865	993	706	287	
自分の自由な時間がもてなくなる	993	558	435	330	105		2 018	930	1 088	800	288	
仕事が十分にできなくなる	216	116	100	74	26		896	436	460	320	140	
子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない	72	40	32	28	4		178	84	94	71	23	
社会から取り残されたような気になる	36	28	8	6	2		247	74	173	131	42	
子どもにどのように接すればよいのかわからない	230	181	49	29	20		413	279	134	67	67	
子どもの非行が心配	341	217	124	89	35		609	343	266	163	103	
子どもの教育・進学が心配	697	389	308	238	70		1 273	598	675	498	177	
子どもの就職・仕事 that 心配	470	280	190	144	46		728	354	374	264	110	
その他	46	36	10	9	1		93	45	48	30	18	
感じていることは特にない	264	254	10	4	6		156	137	19	6	13	
不詳	111	94	17	8	9		62	52	10	3	7	

注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。

2) 「独身者」「既婚者」「子どもの有無」は第8回調査時の状況である。

表4 第1回調査時に独身でこの7年間に結婚した者の性・仕事の有無・就業形態別にみた結婚前後の状況

(単位：人)

性 結婚前の仕事の有無・就業形態	総数	結婚後の仕事の有無・就業形態										仕事なし	不詳
		仕事あり	会社などの 役員・自営 業主	自家営業 の手伝い	自宅での賃 仕事(内職)	正規の 職員・ 従業員	アルバイト・ パート	労働者 派遣事業所 の派遣社員	契約社員 ・嘱託	その他	不詳		
男	656	647	34	13	2	556	9	2	12	8	11	5	4
仕事あり	636	631	33	13	2	544	8	2	11	7	11	2	3
会社などの役員・自営業主	33	33	20	-	-	11	1	-	-	-	1	-	-
自家営業の手伝い	14	14	1	10	-	3	-	-	-	-	-	-	-
自宅での賃仕事(内職)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
正規の職員・従業員	523	519	8	1	1	495	1	-	5	1	7	2	2
アルバイト・パート	14	14	1	-	-	6	5	-	1	1	-	-	-
労働者派遣事業所の派遣社員	3	3	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-
契約社員・嘱託	20	20	1	-	-	12	1	-	4	1	1	-	-
その他	7	7	-	-	-	4	-	-	-	3	-	-	-
不詳	22	21	2	2	1	13	-	-	-	1	2	-	1
仕事なし	19	15	1	-	-	11	1	-	1	1	-	3	1
不詳	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
女	1 363	1 092	27	16	1	769	143	38	80	11	7	266	5
仕事あり	1 286	1 053	26	15	1	759	129	34	72	10	7	229	4
会社などの役員・自営業主	31	26	12	-	-	12	2	-	-	-	-	4	1
自家営業の手伝い	8	7	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1	-
自宅での賃仕事(内職)	3	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-
正規の職員・従業員	920	785	12	2	1	695	45	6	17	4	3	132	3
アルバイト・パート	138	92	1	2	-	13	64	4	8	-	-	46	-
労働者派遣事業所の派遣社員	41	28	1	-	-	3	2	18	3	-	1	13	-
契約社員・嘱託	108	83	-	2	-	16	13	6	42	3	1	25	-
その他	7	6	-	-	-	1	1	-	2	2	-	1	-
不詳	30	25	-	2	-	19	1	-	-	1	2	5	-
仕事なし	63	29	1	1	-	4	13	4	6	-	-	34	-
不詳	14	10	-	-	-	6	1	-	2	1	-	3	1

注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。

2) 7年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

図5 第1回調査時に独身でこの7年間に結婚した女性(仕事あり)の結婚前後の出産後の就業継続意欲

(単位：人)

	総数	出産した後も 続ける	出産を機に やめる	続けるかど うか考えて いない	今後の出産 は考えてい ない	不詳
結婚前	1 282	538	284	398	28	34
結婚後	1 092	623	192	235	21	21

注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。

2) 7年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

3) 結婚前・結婚後の「仕事あり」には就業形態不詳を含む。

4) 仕事についているが学業が主である場合を除く。

図6 この7年間の出生の状況別にみた妻の職場の仕事と子育ての両立のための制度等の状況

(単位：組)

妻の職場の仕事と子育ての両立のための 制度等の状況	総数	出生あり	出生なし
育児休業制度	988	582	406
制度あり	710	434	276
制度なし	119	63	56
制度があるかないかわからない	149	79	70
不詳	10	6	4
短時間勤務制度	988	582	406
制度あり	598	364	234
制度なし	145	85	60
制度があるかないかわからない	229	122	107
不詳	16	11	5
育児のための勤務時間の短縮等	988	582	406
制度あり	352	220	132
制度なし	214	123	91
制度があるかないかわからない	396	221	175
不詳	26	18	8

注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。

2) 「仕事と子育ての両立のための制度等」とは、「育児休業制度」「短時間勤務制度」「育児のための勤務時間の短縮等」について、勤め先の会社等において、自分の就業形態で利用可能な制度があるかどうか、ある場合は、利用にあたっての雰囲気はどうかを質問したものである。

表5 この7年間に子どもが生まれた夫婦の出産後の妻の仕事と子育ての両立のための制度等の利用の有無別にみた出産後の妻の就業継続の状況

(単位：組)

出産後の妻の仕事と子育ての両立の ための制度等の利用の有無	出産後の妻の就業継続の状況				
	総数	同一就業 継続	転職	離職	不詳
育児休業制度	781	520	79	165	17
利用あり	468	409	50	1	8
利用なし	196	103	27	65	1
不詳	117	8	2	99	8
短時間勤務制度	781	520	79	165	17
利用あり	106	93	11	1	1
利用なし	504	376	59	62	7
不詳	171	51	9	102	9
育児のための勤務時間の短縮等	781	520	79	165	17
利用あり	55	44	10	1	-
利用なし	544	417	57	62	8
不詳	182	59	12	102	9

注：集計対象は、9頁「参考」を参照。

用 語 の 定 義

- 1 「**独身者**」又は「**独身であった者**」とは、「配偶者なし」と回答した者をいい、未婚、離別及び死別は区別していない。また、「子どもあり」の者も含まれる。
- 2 「**既婚者**」「**夫婦**」には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない者も含む。
- 3 「**子どもをもつ意欲**」とは、第1回調査において、「今後、子どもをもつことについて、どのように思っていますか。」と質問したものである。
- 4 「**希望子ども数**」とは、（すでにいる子どもを含めて）全部で何人の子どもが欲しいかを把握したものである。
- 5 「**子ども観**」とは、子どもをもつことに関する考え方を質問したものである。
- 6 「**仕事あり**」とは、調査日現在、所得を伴う仕事(学生アルバイトも含む。)についていることをいう。また、調査日現在、仕事についているが、休業中（育児休業、介護休業）である場合も含む。
- 7 「**出産後の就業継続意欲**」とは、「出産した後も現在の仕事を続けますか。」と質問したものである。
- 8 「**仕事と子育ての両立のための制度等**」とは、次の制度について、勤め先の会社等において、自分の就業形態で利用可能な制度があるかどうか、ある場合は、利用にあたっての雰囲気はどうかを質問したものである。
 育児休業制度 …… 子どもの養育のために休業することができる制度
 短時間勤務制度 …… 通常の所定労働時間を短縮する制度
 育児のための勤務時間の短縮等 …… 「育児休業制度」「短時間勤務制度」以外の育児のための勤務時間の短縮（フレックスタイム制、始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ、所定外労働（残業）の免除）等
- 9 「**7年間**」とは、第1回調査から第8回調査までの間のことをいう。